

平成29年度「学校版環境ISOコンクール」に関する取組における概要報告について

山鹿市立来民小学校

1 はじめに

本校における環境教育の目標の一つは「環境に配慮した行動や生活態度を育てること」である。この目標を基に学校版環境ISOを作成し、全児童・全職員が推進員となり、日常活動として取り組んでいることを報告する。

2 本校の宣言項目

本年度の本校の環境教育目標を基に、来民小環境ISOとして取り組む重点目標を決定した。決定に当たっては、これまでの本校の取組の成果や課題を洗い出し、以下のようにした。

環境ISO宣言項目（児童版）

- 1 ものや資源を大切に使います。
 - ・ 自分の持ち物に名前を書き、物を大切に使うことでごみを減らします。
 - ・ 給食の食べ残しを減らします。
 - ・ 教室を使わないとき（休み時間や掃除の時間）は電気を消し、節電を呼びかけます。
 - ・ そうじの時はバケツを使い、歯磨きの時はコップを使い、節水を呼びかけます。蛇口をきちんと閉めます。
- 2 きれいな学校・校区を目指します。
 - ・ 時間いっぱい掃除をし、学校をきれいにします。
 - ・ 学級園や一人一鉢の花植えや水かけを行い、美しい学校をめざします。

（数値目標）

- ・ 残菜0を目指します。
- ・ 昼休み、掃除の時間は電気を消します。
- ・ 1杯分のバケツやコップの水を使います。

3 数値目標の達成を目指した児童生徒及び教師の行動

(1) 児童の取組

4、5、6年生で組織される委員会活動を中心として、ISO活動につながる取組を行うことにした。

委員会名	I	S	O	関	連	活	動
環 境	ゴミの分別	節水・節電の呼びかけ	ゴミ出し				
	掃除コンクール	校内の清掃活動	エコ工作				
給 食	残菜調べ						
生 活	教室のロッカーの整理やトイレのスリッパ並べの呼びかけ						
栽 培	各学年の花壇や一人一鉢の様子のお知らせ	グリーンカーテン					
体 育	運動場の石拾い	体育倉庫整理	運動場の整備				
図 書	環境の本コーナーの設置						
放 送	各取組の呼びかけ						
広 報	ノーマディアデーの取組（カード配り、ごほうびスタンプ、回収）						

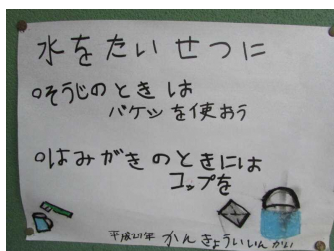
(2) 教師の取組

- ア 両面印刷による、紙の使用量の削減。
- イ 冷暖房を中心とした節電。

4 行動の記録（具体的な活動内容）

(1) 環境コーナーの設置（環境委員会）

環境コーナーを設置し、「節水・節電・ゴミの減量」を呼びかけるポスターを掲示してエコを啓発した。



(節水)



(節電)



(ゴミ減)

(2) 水を大切に使い、使用量の減少を目指して（環境委員会）

- ア 給食後の歯磨きでは、保健委員会を中心に、コップ1杯の水で、うがいができるように、給食前に机の上にコップを配り、食べた児童からコップに水を入れて歯磨きの準備をして、放送の音楽に合わせて磨いている。終了後は、その水でうがいを行うことで、水の出しっぱなしを防いでいる。

本年度は、そのあと、一人一鉢の草花に水をやっている。



(節水をよびかける掲示)

また、水道の水の出し方のポスターを水道に掲示することで、鉛筆1本分をめやすに使い水の節約を意識させている。

- イ 掃除時間には、バケツの水で雑巾を洗うように、放送委員会が呼びかけている。雑巾を流しで洗わないことで、水の無駄遣いを防いでいる。また、掃除終了後には翌日ケツに水を入れておくという習慣が身についている。

(3) 電気使用量の削減を目指して（環境委員会）

毎日、昼の放送の時間を利用して、晴れた日の昼休み時間や掃除の時間には照明を必ず消すように校内放送をしている。

放送やポスターなどで、消灯を意識するようになってきた。（環境の係）

トイレや廊下、印刷室などのスイッチ近くに写真の掲示物（節電キャラクター）をして節電を啓発した。



(節電くまモン)



(4) 掃除コンクールの取組（環境委員会）

無言掃除を行うことを掃除時間に呼びかけたり、ポスターを掲示したりして喚起した。学期に一度、2週間、掃除コンクールを開催し、各掃除場所の掃除の仕方を

点検した。点検項目は、「①無言掃除をしているか。②すみずみまで掃除しているか。③バケツを使って掃除しているか。④掃除道具がきれいに片付けてあるか。⑤雑巾がきれいにかけてあるか。」の5項目である。掃除時間に環境委員会の児童が点検し、翌日のお昼の放送で結果を知らせた。

(5) 残菜を減らすための取組（給食委員会）

給食委員会では、給食の残菜を減らすため、各クラスの残菜量コンクールを行った。放送で、前日の結果を放送し、各クラス残菜ゼロを目指して意欲的に取り組んでいた。その成果で、残菜量を減らすことができた。その後も、給食時間を意識しながら食べさせるなど、各クラスで取組を続けている。

(6) ロッカー整理の取組（生活委員会）

生活委員会では、各クラスの朝のロッカーの整理整頓の様子を週2回調べて放送している。自分の持ち物を整理整頓して気持ちよく学習に取り組もうという意識を高めることができた。



(一人一鉢に水掛)

(7) 一人一鉢運動（栽培委員会）

栽培委員会では、各クラスの一人一鉢や花壇の花の様子を給食時の放送で紹介し、学校の花や植物への意識を高め学校を花いっぱいに行おうとがんばっている。

(8) ノーメディアデーの取組（広報委員会）

広報委員会の活動として、毎週水曜日には、ノーメディアデーを設け、各家庭でテレビやゲームの時間を減らし、家族団らんの時間を過ごすように呼びかけを行っている。毎回、テレビやゲームの時間を減らして、どんな過ごし方をしたか、カードに記入して、意識するようにしている。(ノーメディアデー実施の%とグラフ)



(9) 職員の取組

ア 両面印刷を行い、紙の使用量を減らす。

職員会議や職員間の伝達事項の用紙は、印刷の裏紙を活用して両面印刷にして紙の無駄遣いを少なくしている。また、両面印刷して、不要になった紙はリサイクルできるように、コーナーを設けている。



(裏紙利用のストック)



(コピー機の横には大きさに分けて)

イ 会議のオンライン化

本校の会議は、各職員がパソコンを用いて行い、紙資料が必要な時にだけ印刷をするようにしており、紙などの資源の節約に繋がっている。

ウ 学校の年間の電気使用量を減らす取組

職員室の冷房は、28度以下では使用しないことや、職員室と教室の暖房は、10度以上では使用しないことを決めている。また、職員室も必要のない電気製品のスイッチをきることや、休み時間には消灯することを心がけている。

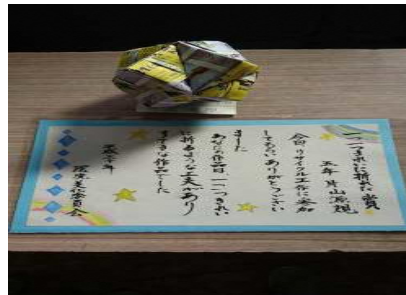
(11) リサイクル工作（環境委員会）

ゴミとして捨てるものを、生活を豊かにする楽しい物に替えられないか。環境委員

会で話し合った。以下のような工作に変身し、校内に展示して寸評を募集した。



(空き箱や容器の将来の私の家)



(チラシでつくったボール)

5 成果と課題

(1) 成果

- ・ 日常の様々な活動を通して、学校の美化や環境に対する児童の意識は高まっていると感じる。一人一鉢運動等を通して草花を大切に作る心や花壇を広げる取組が広がってきている。
- ・ 掃除コンクールを行うことで、児童の中に少しずつ「無言掃除をすることや「すみずみまで掃除をすること」が意識されていった。また、結果をお昼の放送で知らせることで、児童が主体的に掃除に取り組む姿が見られた。
- ・ 各委員会の呼びかけやコンクールの実施が児童の意欲につながった。
- ・ 節電キャラクター、ポスター、集会での呼びかけ等が、児童の環境への関心向上につながり、エコ推進に貢献した。
- ・ エコ工作は、ゴミを減らす意識や生活を楽しむことの啓発に役立った。

(2) 課題

- ・ ゴミの量を減らすための児童への呼びかけが不十分であった。また、落とし物も以前多く、物を大切に作る心が十分育っていないと感じる。
- ・ 集会での呼びかけ等はあったが、日常活動が環境委員会の活動で終わりがちであり、学級化から個人のエコ宣言まで進めて、一人一人のエコ意識の向上を一層図れるようにしたい。